

【施設状況】

グループ名称	茶臼山公園(植物園口駐車場を除く)、茶臼山動物園城山分園、茶臼山自然植物園(恐龍公園)、茶臼山マレットゴルフ場										
指定管理者名	一般社団法人長野市開発公社					法人番号	9100005000010				
所管課	主	202500	公園緑地課	副	151000	スポーツ課					
構成施設	2840	茶臼山公園(植物園口駐車場を除く)									
	92442	茶臼山動物園城山分園									
	5645	茶臼山自然植物園(恐龍公園)									
	3451	茶臼山マレットゴルフ場									
施設分類	04	レクリエーション型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	茶臼山動物園(キリン舎、ゾウ舎、レッサーパンダ舎などの各種獣舎、遊具、売店、便所、ふれあい広場、管理棟ほか) 城山分園(アシカ池、サル山、ペンギン舎などの各種獣舎、大型遊具、売店、便所、管理棟ほか) 茶臼山自然植物園(童謡の森、若者ひろば、こどもオトギのひろば、遊歩道、ローラー滑り台、恐竜遊具、管理棟ほか) 茶臼山マレットゴルフ場(マレットゴルフ場18ホール、クラブハウス)										
施設設置目的	【動物園及び植物園】市民のレクリエーション、野外学習、教育などの場所であると共に、動物の種の保存、調査研究の場として設置した。 【マレットゴルフ場】生涯スポーツの観点から身近にスポーツレクリエーションに楽しめる場を提供し、市民の生きがい、健康づくりに貢献するため、市内初の山間地を利用した全面芝生のマレットゴルフ場を設置した。										
基本方針等	【動物園及び植物園】指定管理者の創意工夫に基づく積極的な管理運営により、施設ごとの社会的意義も深く認識しながら、常にその機能を十分発揮し、市民サービスの効果及び効率を向上させ、地域に根ざした施設となることを目指す。 【マレットゴルフ場】施設の適正な維持管理はもちろんのこと、積極的な講座、イベントの開催といった積極的な事業実施により、施設の設置目的である「市民の体位向上」「レクリエーションの普及」を図る。										
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 動物の飼育、展示、イベント、調査研究 遊具の利用 売店の運営(食料品、玩具等の販売)、自動販売機(飲料)の設置 施設の維持管理及び用具の貸出 										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	一般社団法人長野市開発公社			当該指定管理者の 指定回数	4 回	
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日
指定 管理者 の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年比	評価
	茶臼山動物園入園者数	人	201,444	171,062	210,962	240,880	114%	
	城山分園入園者数	人	256,535	169,029	237,941	212,484	89%	
	茶臼山マレットゴルフ場利用者数	人	4,457	4,611	5,348	4,235	79%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の管理に関する業務 ・施設及び設備の運営維持管理に関する業務 ・利用料金の收受に関する業務 ・動物に関する各種申請業務 ・利用状況等報告業務 ・その他、施設の管理に関し、長野市が必要と認める業務 ・マレットゴルフ場の利用許可・取り消し・料金徴収・施設維持管理 ・自動販売機の設置運営 			【未実施事業】 ・動物園裏側探検など各種ふれあいイベント、職場体験について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーカーの貸し出し ・動物園裏側探検隊ほか 各種イベント ・売店での商品販売 ・動物園サポーターイベント(モーニングズー、イブニングズー、スペシャルサンクスズー)の開催 ・地元地区団体等への大会誘致 						
サービス維持・向上の取組み (広報等)	<ul style="list-style-type: none"> ・茶臼山動物園オリジナルグッズの製作・販売をし、売店の収益増を図った。 ・「長野市公共施設ガイド」を作成し、市内だけでなく、県内外に配布して施設を広く紹介した。 ・イベント情報はホームページや「広報ながの」への掲載、報道機関への投げ込み等により周知を図った。 ・動物の展示手法の工夫で誘客に取り組んだ。 ・地元出身のアイドルを長野市城山動物園親善大使として任命し、新たな客層の誘客を図った。 ・SNSを活用し、積極的な動物園情報の発信に努め、来園者増を図った。 ・マレットゴルフ場においてお客様との積極的なコミュニケーションを図り、ご要望、感想を聞きサービス向上に努めた。 							

4

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	利用者アンケート用紙を園内に常時設置し、58組(茶臼山:24組、城山:28組、マレット:6組)から回収した。		
	(3) 調査、会議等の結果	【茶臼山】①性別-男25人、女31人 ②来園数-1回目7人、2回目5人、3~5回目5人、5~10回目1人、10回目以上4人 ③年齢-未就学児6人、小学生17人、高校生以上10代1名、20代3人、30代7人、40代11人、50代3人、60代4人、70代以上4人 ④お住まい-長野市内6組、千曲市2組、飯田市1組、南信その他1組、中野市1組、佐久市1組、東信その他1組、県外11組 ⑤何で知ったか-ネット7人、SNS2人⑥誰と-家族15人、友人2人、個人5人、その他1人⑦印象に残った動物・展示-アムールトラ8人、レッサーパンダ・ライオン7人、キリン・ニホンザル5人、ウォンバット・ツキノワグマ4人 【城山】①性別-男28人、女41人、未回答2人 ②来園数-1回目28人、2回目15人、3回目11人、4回目5人、5回以上12人、③年齢-10歳未満22人、10代11人、20代6人、30代16人、40代8人、50代8人、④お住まい-長野市内31人、上田市9人、千曲市11人、松本市5人、須坂市3人、小布施町1人、坂城町2人、県外9人 ⑤何で知ったか-広報ながの10人、HP・SNS37人、報道・新聞10人、知人より1人、TV7人 ⑥誰と-家族58人、友人13人 【マレット】①性別-男3人、女3人 ②年齢-30代1人、60代2人、70歳以上3人 ③何で知ったか-広報ながの1人、知人の紹介3人、地元1人、インターネット1人④初めての利用か-はい1人、いいえ5人 ⑤シーズン中の利用回数-1~5回1人、6~10回1人、16回以上4人、⑥何人で利用するか-1人:1人、2人:4人、4人:1人⑦コースの管理状態-大変良い1人、まあまあ良い4人、普通1人、⑧早朝営業を実施した場合利用するか-いいえ5人、未回答1人		
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	【茶臼山】レッサーパンダが近くで観られて非常に良かった、スタッフの方がとても親切、小さい子どもにも優しい施設が良い、珍しい動物がたくさん展示されていて良い 【城山】飼育員さんのガイドが面白かった、入園料が無料なのに大変楽しめた、いろいろなイベントがあり良かった 【マレット】整備がしっかりされていてプレーしていて気持ち良い、眺めが良い、受付の方が優しくて丁寧		
	(2) 苦情・改善等の要望事項	【茶臼山】正面入口付近に時計が欲しい、オランウータンの缶バッジがほしい、売り切れたグッズの再販をお願いします、レストラン等の飲食の確保を 【城山】駐車場が満車だったの拡大してください 【マレット】営業期間の延長をしてほしい。		
利用者からの評価・苦情等	《対応措置》	【茶臼山】令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、ふれあいイベントや動物との接触を伴うことを中止していた。令和5年度は、感染拡大状況から各イベントの再開の判断し、再開に向け積極的な広報や再開に向けた準備などを行い、誘客に努める。 【城山】城山公園駐車場の整備が実施され、公園内の駐車可能台数が増える予定 【マレット】12月営業は利用者数が減少することから行っていない。		

3

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和4年度)				市の収支				評価		
	項目	年度計画額		収支実績額		項目	令和4年度決算			令和3年度決算(前年度)	
		金額	金額	項目	金額		金額	金額		項目	金額
収入	利用料金	72,889,000	利用料金	72,527,920	歳入	使用料	28,670	使用料	20,420		
	指定管理料	404,724,000	指定管理料	406,384,000		雑(納付金)		雑(納付金)	209,000		
	委託料		委託料			行政財産目的外使用料	159,060	行政財産目的外使用料	145,750		
	販売収入等	26,682,000	販売収入等	24,972,950		貸付料	78,794	貸付料	99,382		
	その他収入	3,840,000	その他収入	5,034,269		その他		その他			
計	508,135,000	計	508,919,139	計	266,524	計	474,552				
支出	人件費	281,210,000	人件費	276,234,744	歳出	指定管理料	406,384,000	指定管理料	402,724,000		
	設備管理費	43,146,000	設備管理費	42,648,313		委託料		委託料			
	備品購入費	6,831,000	備品購入費	8,220,221		需用費		需用費			
	修繕費	2,565,000	修繕費	3,105,334		役務費	252,000	役務費			
	光熱水費	34,884,000	光熱水費	43,820,895		使用料・賃借料	427,635	使用料・賃借料	443,605		
	事業費	71,044,000	事業費	65,380,661		修繕費		修繕費			
	事務経費	2,241,000	事務経費	2,348,378		工事請負費		工事請負費			
	本社経費	34,020,000	本社経費	36,522,763		備品購入費	773,410	備品購入費			
	その他	32,194,000	その他	31,006,246		その他	80,935	その他	80,935		
	計	508,135,000	計	509,287,555		計	407,917,980	計	403,248,540		
自主事業	収入	40,170,000	収入	52,013,048							
	支出	36,860,000	支出	41,330,794							
	自主事業損益	3,310,000	自主事業損益	10,682,254							
損益		3,310,000		10,313,838	差引	-407,651,456		-402,773,988			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和4年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									54.2%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				計画額は、本社経費を除いた税抜支出に7.95%を乗じて算出し、実績額は、税抜収入に7.95%を乗じて算出しているため。							

5 管理運営全般 ※すべて☑で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	☑	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	☑	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	☑	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	☑	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	☑	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の会議に出席 ・地元在住者の積極的な雇用 ・動物の餌や備用品・原材料などを地元業者から購入 ・市内保育園・幼稚園の園児や小学校児童に教育の場を提供 ・地元商店会と連携しオリジナル商品の開発や販売 ・長野市内事業者の商品を売店で販売 		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 68	
施設の有効活用	4	16		
利用者評価	3	12		
事業収支	4	16		
管理運営全般	3	6		
危機管理体制	3	6		
地域連携	3	6		

評価理由	<p>【動物園】 ・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながらイベント開催を行い、ホームページ・SNS・プレスリリースなどによる情報発信をして茶臼山動物園においては開園以来過去最高の入園者を確保できたことから、「施設の有効活用」は4とした。 ・過去最高の利用料金収入や環境省(ライチョウ保護増殖事業)交付金を確保し、光熱水費高騰による支出額増大による指定事業の収支マイナスを最小限に抑えた上で、自主事業においてニーズに応じた商品を販売してトータルでの収支を計画より大幅に黒字化できたことから「事業収支」は4とした。</p>		
取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	<p>【動物園】新型コロナ感染症対策(来園者・飼養動物・職員)を行いながらイベントの実施や入園者確保を図る [マレット]利用者増加への取組み</p>	<p>【動物園】国・県・市の指示に従い安全対策を実施した上で感染状況を把握しながらイベントの一部について開催した。 一部職員に感染者が出たが、保健所指示に従った消毒や人材確保を速やかに行い、運営に支障が出なかった。 [マレット]開発公社総合パンフレット「長野市公共施設ガイド」を作成し茶臼山マレットゴルフ場を広く紹介し利用促進を図ったが、利用者は減少となった</p>	<p>[マレット]開発公社総合パンフレット作製に加え、茶臼山3施設一体管理の利点を活かした利用促進を図る</p>
次年度の目標・取組み等(施設所管課)	<p>【施設共通】・新型コロナウイルス感染状況の動向を踏まえ、安全対策を継続しながらイベント等を実施すること。 【茶臼山】・施設再整備を行う中でアムールトラやチンパンジーなど希少な動物の充実を図り、来園者の増加に向けて積極的な広報活動に取り組み、令和5年度の開園40周年記念イベントを実施すること。 【城山】入園者・大型遊具利用者増加に向けたPRに努めること。 【マレット】引き続き利用者増加に向けて取り組むこと</p>		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

●【茶臼山動物園】

モノレール駅舎はガチャガチャや当動物園の人気者レッサーパンダのプリントシール機の設置導入などによる誘客に努め、家族連れが乗車待ち時間も楽しめる工夫を図りました。新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた各種季節イベント開催も継続的に実施しました。大型連休やサマーナイトZOO時には動物園、恐竜園、植物園を結び無料シャトルバス運行を実施し、施設の相互利用の向上と、駐車場並びにモノレール混雑解消に努めました。

●【城山動物園】

新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた各種季節イベントも継続的に実施しました。SNSによる情報発信にも努め、動物の日々の様子やイベント時のライブ配信などを積極的に実施しました。大型遊具利用や売店商品購入でポイントを進呈、溜まったポイント毎に様々な特典と交換(又は体験)が出来る企画【ポイントカード制度】を実施しました。大型遊具の専門業者による定期点検や自主点検を実施し安全運行に努めました。

●【茶臼山マレットゴルフ場】

グリーンキーパーによる良質な芝生管理に努めると共に、団体予約を積極的に受け入れました。

●【茶臼山恐竜園】

植栽管理、園内除草業務を直営化し、美観の保全励行に努め、環境整備された公園づくりに努めました。

SNSを新しく開始し、園内の様子や季節の花々など積極的に外部へ情報発信を実施しました。

② 業務の効率化に対する取組み

●【茶臼山動物園ほか】

・茶臼山動物園職員が、マレットゴルフ場、恐竜園の事務及び作業を兼務し業務に当たり経費削減に努めました。

・駐車場、通路など共有場所の草刈り、植栽剪定等を、分けなく一体となって作業に取り組みました。

・場内の補修、営繕など、人手を要する業務も協力して作業にあたりました。

・広報チラシは「茶臼山一帯」として紹介し、1日遊べるエリアとして周知に取り組みました。

・乗用草刈機、剪定器具などを共有で使用しております。

●【城山動物園】

・各獣舎や手摺り等のペンキ塗りや、補修作業を動物園職員で行いました。

・サル山のコンクリート剥離の修繕や、フラミンゴパドックへのハトの侵入を阻止するネット張り・寒冷紗の設置を職員により実施しました。

・園内売店の問題点の改修(壁紙の張り替え・陳列方法・導線の変更)を職員で実施しました。☒

③ その他

●【茶臼山動物園、城山動物園】

・長野市茶臼山動物園整備基金の実施にあたり、「茶臼山動物園サポーター」に対し特別イベントを新型コロナウイルス感染症の対策を講じた企画を立案し継続して実行しました。
・特定動物飼養許可申請・BLによる動物交換など専門知識を要する一部の事務について公社職員が代行して対応しており、長野市と一体となって動物園管理業務を遂行しております。

・種の保存事業として、環境省のライチョウ保護繁殖事業としてニホンライチョウ3羽を中央アルプスに野生復帰させることができ、また、市天然記念物である「皆神山のクロサンショウウオ産卵池」での調査研究と清掃活動、飼育下での保護増殖活動に取り組みました。

・地元の商店や業者と連携しオリジナル商品の開発及び販売、商店会による動物園イベント開催時の露店販売等地元活性化に取り組みました。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

●【茶臼山動物園】

施設全体の経年劣化による修繕及び工事箇所(駐車場含む)が増加。乳児が多いことから授乳室の増設の必要性。強風、湿雪等で特にニセアカシヤの倒木が多くなっているため対策として計画的な伐採整備の必要性。売店面積拡大。南口の階段の凸凹による転倒事故の危険性。

●【城山動物園】

動物園周辺の整備計画において老朽化の進む施設の多い園自体の再整備の推進。獣舎並びに大型遊具の老朽化が進み、今後修繕費用の高騰等危惧される。利用者から園内トイレ洋式化の要望多数。園内サクラの老木化による倒木の危険性があるため計画的な植え替えの必要性。

●【茶臼山恐竜園】

松くい虫の発生と防除、強風、湿雪等で特にニセアカシヤの倒木が多くなっているため対策として計画的な伐採整備の必要性。園内遊具の経年劣化等による事故の可能性。

●【茶臼山マレットゴルフ場】

温暖化による気温上昇対策としてプレー者の熱中症予防のため、四阿等の設置が必要である。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

A

① 評価理由

●【茶臼山動物園、城山動物園】

茶臼山動物園

上半期は、3年ぶりに新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限のないGWとなり、また、お盆期間中(サマーナイトZOO)は天候に恵まれ、さらに、職員による積極的な情報発信により、前年度を上回る入園者数となりました。その結果、年度累計は入園者数24万人で前年度比114%、入園料収入は7,150万円の前年度比115%となり入園者、入園料ともに開園以来最高となりました。

売店収入は、売店売上向上委員会が中心となりオリジナル商品の企画・販売や臨時売店の開催、さらに、SNSでの商品情報の発信などを積極的に行った結果、収入は3,718万円の前年度比154%となりました。マレットゴルフ場利用者は、近隣無料施設に利用者が流失したことにより、年度累計は入園者数4,235人の前年度比79%、入場料収入は102万円の前年度比88%となりました。

イ 城山動物園

4月から6月の入園者は、善光寺御開帳による周辺駐車場の満車状態が大きく影響し、入園者数が減少となりました。しかし、8月以降は長野市内小学校、幼稚園、近隣市町村へのチラシ配布、遊具の子供無料券の配布を行い、さらに、城山動物園親善大使であるNGT48のイベントによる集客やSNSによる情報発信、オリジナルグッズの販売や週末には露店テント販売等を実施した結果、来園者数、売上が回復しました。特に、ぬいぐるみのエアークジをはじめとした商品等が好調で売上が伸びました。また、3月は、天候が良かったことと春のイベントの開催により、今年度中一番の大型遊具の利用料収入となりました。その結果、年度累計は入園者数21万2千人で前年度比89%と減少したにもかかわらず、指定事業と自主事業の売上合計は2,934万円の前年度比102%となりました。

② 次年度以降の取組み

●【茶臼山動物園、城山動物園】

・SNSでの情報発信を強化し、誘客につなげる情報発信、プレスリリースを迅速に行い、マスメディアを最大限活用した情報発信に努めます。

・令和5年に茶臼山動物園開園40周年を向かえるにあたり、記念の式典やイベントを実施するとともに継続して地域の活性化を進め、地元が必要とされる施設を目指して行きます。

●【茶臼山恐竜園】

・植栽管理、倒木処理などの環境整備に努め、美化活動を励行し綺麗で安全な公園管理を実施します。

●【茶臼山マレットゴルフ場】

・良質な芝生管理、整備されたマレットコースの提供に継続して努めます。